



江津で遊ぶ、学生生活。

『アオハル 52』は、島根県江津市にある県立学校3校と一緒に学校生活を楽しみ、学んでいく様子をお届けする情報誌です。今年度から江津高校、江津工業、江津清和養護の3校で“まちで学ぶ”を考えるチーム、“GO▶GOTSU コンソーシアム”が立ち上がり、それぞれの特色を活かしたプロジェクトを

行なっています。学校同士はもちろん、地域、企業と一緒にさまざまな「学び」「楽しみ」を作っていきたいと思っています。この情報誌では、そういった連携の様子をお届けしていきます。

“まちで学ぶ”を考えるチーム = GO▶GOTSUコンソーシアム

GO▶GOTSU コンソーシアムはさまざまな人、団体、学校、地域とつながり、まちで学ぶ中で自分の未来、まちの未来を創造できる人材を育てます。

私たちが描く未来 ～ないもの・あるものから学ぶ～

県立学校3校での活動



つながる土台である3校がまずは中心となって、お互いの課題解決や魅力をさらに高めていきます。

地域と一緒に！



学校の中だけでは学べない、現実には起きている課題や知られていない魅力を題材に地域の方と一緒に活動します。

小中学校、大学との連携



年齢が近い人との交流を通して、少しずつ多世代とのコミュニケーションの場を増やします。

さまざまな人と共に生きる



これからの変化の激しい時代を生き抜くために柔軟で、さまざまな視点を持ち、自分とは違う意見を受け入れることができる力を育てます。

自分ごととして行動できる



加速化する人口減少の中で、この街に住む一人一人がまずは身近な課題や魅力を自分ごととして捉えることができる力を育てます。

自分の得意を把握し活かせる



自分の好きや得意を理解することで、自らに対しての自信が付き、積極的に行動できる力を育てます。

まちの課題を捉えて解決する力を身につける

KAWARAPROJECT

地域との距離が近い学校



地域課題から各プロジェクトを考えていく。今年度は、都野津駅100周年の年でもあり「駅」プロジェクトをはじめ、自分たちの宿泊研修を企画する「旅」わくわくエンジンの活動を広げる「わくわく」医療・福祉の「ケア」や「保育」、昨年から続く「神楽」「苔」、情報発信の「広報」プロジェクトを「つなぐ」などのテーマがある。

生徒のやりたいを支援する学校



生徒の思いから立ち上がった苔プロジェクト。1年次の総合探究で話を聞き興味を持った生徒が種をまき仲間が集まって活動がスタート。2年生の授業でプロジェクトの1つとなり大きな活動も期待できると生徒たちは喜んでいる。

ここからはじまる

テクノロジストへの道

～まちのリアルな課題を「ものづくり」で解決する～

HPが新しく
なりました！

江津工業高校には建築・電気科と機械・ロボット科の2つの学科があります。「地域産業を担うテクノロジストの育成」というスローガンのもと、プロの技術者を目指して生徒たちは日々の学習に取り組んでいます。



専門の資格を取得して卒業する生徒も多く、県内・県外を問わず多数の技術者を輩出しています。江津市役所新庁舎の新庁舎建設は従事者の多くが本校の卒業生であり、卒業生が江津市を支える重要な人材になっています。



6月には建築・電気科の生徒が建設現場の見学をさせていただきました。この他にも、街の中にある建物を修繕したり、小学校でロボット工作教室を開いたり、多数の取り組みを行っています。

生徒一人一人のOnly1を目指す



身体の不自由さや、心身の病気に對して、日常的に配慮が必要な、小学校(小学部)から高校(高等部)までの児童生徒が通っています。全部で26名の小さな小さな学校です！児童生徒は、隣接する医療機関から通ってくる子ども達と家庭から通学してくる子ども達がいいます。江津清和養護学校は、江津市のみならず、島根県西部の肢体不自由児と病弱児を支える学校です。



各学部では、小学校、中学校、高等学校と同じ学び方をしていく児童生徒がいたり、本人の興味関心から学習内容を考え、体験的活動を取り入れながら学ぶ児童生徒がいたりします。それぞれの児童生徒が障がいの状況に応じて様々な学び方を行っている特徴が有ります。(簡単に言うと)時間割の種類が、およそ児童生徒の数あると言えるかもしれません。今後の号で、少しずつ江津清和養護学校について、紹介していきます！